

関係各位

2021年7月29日

株式会社パテント・リザルト

【化学】他社牽制力ランキング 2020

トップ3は富士フィルム、三菱ケミカル、花王

弊社はこのほど「化学業界」を対象に、2020年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「化学業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2020年に最も引用された企業は、1位 富士フィルム、2位 三菱ケミカル、3位 花王となりました。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2020 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	富士フィルム	4,287
2位	三菱ケミカル	2,014
3位	花王	1,556
4位	積水化学工業	1,297
5位	日東电工	1,148
6位	旭化成	1,027
7位	住友化学	1,013
8位	昭和电工マテリアルズ	940
9位	DIC	755
10位	信越化学工業	708

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020年12月までに公開されたすべての特許のうち、2020年1月から12月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021年5月1日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 富士フィルムの最も引用された特許は「駆動耐久性及び発光特性が良好な発光素子」に関する技術で、半導体エネルギー研究所の「発光効率および寿命の良好な発光素子」など計15件の審査過程で引用されています。このほかには「配向性を有さない基板上に複合酸化物等の無機結晶性配向膜を成膜する方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、半導体エネルギー研究所の11件とTHE BOEINGの1件、計12件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、富士フィルムの特許による影響を受けた件数が最も多い企業はキヤノン(325件)、次いでコニカミノルタ(179件)、大日本印刷(112件)となっています。

2位 三菱ケミカルの最も引用された特許は「光取り出し効率を改善したフリップチップ型のGaN系発光素子」に関する技術で、ディスコの15件の審査過程で引用されています。このほかには「ゴム成分と配合する事により、ゴムタイヤの燃費性能に関する発熱性が良好なゴム組成物を実現し得るセルロース繊維」(ブリヂストンなどと共同出願)に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、花王の5件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、三菱ケミカルの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は住友化学(52件)、次いで日東電工(39件)、昭和电工マテリアルズ(35件)となっています。

3位 花王の最も引用された特許は「泡形状で広い面積に簡単に塗れ、べたつかずにつりいを与える皮膚化粧料組成物」に関する技術で、ポーラファルマの「スクリーンフォーマー用の外用組成物」など計5件の審査過程で拒絶理由として引用されています。

2020年に、花王の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はPROCTER & GAMBLE(63件)、次いで王子ホールディングス(56件)、LOREAL(40件)です。

4位 積水化学工業は「容易に塗布でき、硬化性、硬化物の透明性及びバリア性に優れる有機エレクトロルミネッセンス表示素子用封止剤」が、**5位 日東電工**は「耐衝撃性、耐久性の良好な輝度向上フィルム」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>